

7月24日(火)発行

昨日の感動を  
お届けします!!

ほほ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



暑さを忘れる、贅沢な暑気払い!

【7/22(日)新日本フィルハーモニー交響楽団】

記録的な猛暑の中、ミュウザ川崎にたどり着いてみると、座席はほぼ満席だった。この日の演目は、ヘンデル、モーツァルト、そしてベートーヴェン。ジャズをはじめ多彩なラインナップのサマーミュージックの中でも、直球ど真ん中の王道プログラムである。

1曲めはハーティ編曲によるヘンデル「王宮の花火の音楽」から序曲。バロック期の華やかな祝祭の音楽だが、指揮者の円光寺雅彦氏と新日本フィルが奏でる音は、意外なほどモダンで優雅なものだった。なんというか、バロック

だけでも、ノリがいい感じなのだ。

続いてはモーツァルト「ピアノ協奏曲第20番」で、ソリストは、横山幸雄氏。彼が登場した瞬間、ステージがぱっと華やいだ気がしたのだけれど、流れ出したピアノの音色もとても華やかで軽やかなものだった。映画「アマデウス」のエンディングを思い出さずにいられない第2楽章も、重くなりすぎず、きりりと冷えたミネラルウォーターのように透明感がある、洒落な演奏だった。

最後は、ベートーヴェン「田園」。この曲を聞いたときに、あの気難し屋のベートーヴェンがよくこ

んなにわかりやすく楽しい曲を書いたなあと感動するが、この日の演奏でも、しっかりと田園の風景や鳥たちの鳴き声、嵐が襲来する様子や農民たちの踊る姿などが、次々と頭に浮かんできた。曲の特徴でもあるけれど、特に木管の音が全体に楽し気で心地よく、思わずウキウキさせられてしまった。「田園」のひとつでひととき暑さを忘れた、贅沢な暑気払いであった。(上原章江/フリーライター)

【明日・明後日の朝刊休みます】

明日・明後日(7/25,26)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は7/27です。



終演後の一枚、サインとともに。  
ピアノ：横山幸雄&指揮：円光寺雅彦

## 来場者の声

新日本フィル最高!心洗われる演奏でした。みずみずしい気持ちになりました。バロックって、クラシックって、心を体を清涼感がつき抜ける音楽なのでした!!(匿名) / すばらしいえんそうでした。夏にぴったりの曲でした。かっこうをイメージしているクラリネットの音色が好きでした。またフェスタサマーミュージックに行ってみたくて(10代・ゆかりん) / 夏にふさわしい花火や小川のせせらぎの響き。酷暑を忘れさせる至福の2時間でした(60代・さいたまさ) / 外は猛暑、コンサート会場は涼。演奏は熱気と迫力に満ちて感動、憩いの幸せな気分を味わって満足だった!! 横山さんのモーツァルト絶品の内容で暑さを吹き飛ばすさわやかな演奏だった。新日本フィルのバックも絶賛だった。「田園交響曲」も押し付けがなく自然体の演奏がとても良かった(50代・ハイドン好き男)

【本日7/24(火)ロビーコンサート出演者訂正】プログラム掲載の出演者が誤っておりました。お詫びして訂正いたします。  
【誤】ハーブ：田島 緑 → 【正】ハーブ：梶 彩乃



**NEXT!**  
サマーミュージック  
次回のチケット情報

洗足学園音楽大学 華麗なるバレエ～音の魔術師ラヴェル～

7/27(金) 18:30開演(17:45開場) ミュウザ川崎シンフォニーホール

指揮/秋山和慶

バレエ/

谷桃子バレエ団

牧阿佐美バレエ団

東京シティ・バレエ団

洗足学園音楽大学バレエコース学生

管弦楽/

洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団

- ラヴェル：マ・メール・ロワ (谷桃子バレエ団・同団クラス)
- ラヴェル：ボレロ (牧阿佐美バレエ団・同団クラス)
- ラヴェル：ラ・ヴァルス (東京シティ・バレエ団・グローバルクラス)
- ラヴェル：「ダフニスとクロエ」第2組曲 (東京シティ・バレエ団・グローバルクラス)

当日券あり

A席のみ計100枚程度

◎電話予約：なし

◎4階カウンター/10:00～17:00販売

◎当日券カウンター/17:30～販売

※17:00～17:30の間は販売を休止いたします

S席¥1,200【完売】

A席¥800

# ドビュッシー、その独特の音世界

記念イヤー必聴!ドビュッシー没後100年に贈る、ホールアドバイザー・小川典子のピアノ・リサイタル。

今年生誕100年のレナード・バーンスタインが16歳のライジング・スター、アンドレ・ワッツを広く世に紹介したのは今から55年前の話。ワッツが現在、世界のピアノ界をリードする巨匠ピアニストであることは周知のとおり。

この名ピアニストのドビュッシー「映像第1集」をこどもの頃に聴いたことがきっかけで、ドビュッシーの音楽に夢中になっていったと雑誌のインタビューで語るピアニストの小川典子さん。この9月、没後100年を記念してオール・ドビュッシー・プログラムのリサイタルを

ミュウザで開催する。

ドビュッシーは学生時代に、モーツァルトやベートーヴェンの音楽には使われていない、当時としては耳新しいエキゾチックな響きを生み出し、自身の作品に取り入れている。小川さんによると、彼の音楽の魅力はその独特の音色の世界を探求することにあるという。作曲家の個人的主張やメッセージ性が強い作品に対し、音楽そのものの色合い・肌合いを楽しめるところがドビュッシーならではの

## ◆小川典子ピアノ・リサイタル

【日時】9/29(土)14:00開演 【会場】ミュウザ川崎シンフォニーホール  
【曲目】版画、映像第1集・第2集、前奏曲集第1集、喜びの島  
【料金】一般¥4,000、U25¥1,500(全席指定)

の作品の魅力なのだろう。

北欧最大のレーベルBISから、小川さんの演奏による、ドビュッシーのピアノ曲全集(6枚組)が全世界にリリースされ、BBCのクラシック専門ラジオ3の名番組「CD REVIEW」の中で、彼女の演奏によるドビュッシーの「映像」が、数々の名演の中からトップチョイスに選出(2014年1月)。小川さんの演奏を聴くと多彩な音色の世界に吸い込まれていく不思議な感覚を持つ。9月のリサイタルが待ち遠しい。(事業課かい)



パートナーショップのご紹介  
**エンジョイ!**  
**川崎!!**  
Enjoy Kawasaki



## ゴーヤを食べて夏を乗り切ろう!

ミュウザ川崎1階、電車沿いの40番地グルメ横丁にある沖縄料理のあしびなー。あしびなーは「遊び場」という意味。

今日のランチは「ゴーヤチャンプルー定食」(税込み880円)。苦みが殆ど無い柔らかい味付け。

店長さんにお伺いしたところ、ご本人は関東のご出身だそうです、お祖父様が奄美大島のご出身だとか。そんなところにも隠し味があるのかもしれない。

夜は居酒屋に早変わり。サマーミュウザ期間中は、優待券提示でラ

ンチも夜も10%引きという嬉しい特典。毎日、通ってしまうかも!栄養いっぱい、美肌効果抜群のゴーヤを食べて、今年の夏を乗り切ろう!

(事業課 K.K.)

**あしびなー (沖縄料理)**

▶リスト P.16 掲載

📍ミュウザ川崎 1F

🎁パートナーショップ特典  
**飲食代10%オフ**

〜ミュウザ公式インスタもフォローしてね〜

Instagram

ミュウザ川崎シンフォニーホール

**斉藤和志の休日**  
(東京フィル/フルート首席奏者)

♡💬👍

**斉藤和志** 体力維持のため、大好きなサッカートレーニングを日々しています。これは前回東京フィルワールドツアーで立ち寄ったマドリッドでの一コマ。某巨大スタジアムを訪れたらこんな合成写真を販売してくれました。アラマドリー!  
#東京フィル #フルート #斉藤和志  
#サッカー #マドリッド #アラマドリー  
#アーティストの休日 #サマーミュウザ  
#ミュウザ公式インスタ運動中



**新規入会でもらえる!**  
サマーミュウザ期間中(8/12まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュウザオリジナルチケットホルダー】または【ミュウザオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

**ミュウザ友の会**  
◎年会費3,000円  
・チケット割引  
・先行予約  
など、お得な6つの特典あり!  
詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

**現・会員の方に プレゼント!**  
サマーミュウザ公演にご来場の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュウザラベル】をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください(1枚につき1本お引換)

サマーミュウザ公式サイト  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュウザで投稿してください!



Twitter : @summer\_muza



Facebook : @kawasaki.sym.hall



Instagram : @muzakawasaki

【訂正】第2号裏面「夏ラボ」特集内イベント時に誤りがございました。お詫びして、次の通り訂正いたします。誠に申し訳ございません。  
◆わたしもほくもオルガニスト!発表会  
【日時】7月26日(木) 14:00〜15:30



昨日の感動をお届けします!!  
ほぼ毎日  
**日刊サマーミュウザ**  
Hobo Nikkan Summer Muza

最近あちこちでよく見かけるようになったデジタルサイネージ。ミュウザにも何か所か設置されています。今でももちろん紙のポスターだって使いますが、なんと印刷しなくてもサイネージは張り替えの手間がなく、印刷しなくても見ていただけるのが便利どころ。

ミュウザでは大抵「本日の公演」としてその日のコンサートの画像を開演の2時間前くらいから流すようにしています。SNSなどでサイネージの画像を見かけると、いつもついつい嬉しくなってしまうのです。JR改札からミュウザへのペDESTリアンデッキに続く曲がり角と、ミュウザビル2Fの「光のブリッジ」横そして4Fの「歓喜の広場」に設置していますので、ぜひ目印にいらしてくださいね!  
(サイネージ担当:う)

スタツフ日誌